

[illegible]

心が一時的の感情に過ぎざるの

危機に基けるに依る者
ロサンゼルス
兄弟審決定し有罪
を告ぐ爲めに米國所在の勞
打撃を受けたること甚だなり

梁川庄八

第五十回

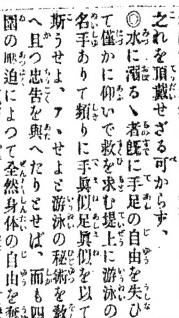
小金井渡洲演

新編『モシ』可憐な目

と相手の位地と事情に何等の同情を拂
はすして單に自己の立脚地より割し出
して他に之れを強んと欲す、人生れて

選者九皇館主留
一人にて何者にて宜敷、用紙
用箋は御隨意の事、但投詠者は
住所氏名御明記の事

教忠告者被指導者たること勿れ、謹ん
で拜聴せざれば親切を無にする奴だ
と捨てらる可く謹聴して猶ほ行ふ能はざ
れば意汚地無し、てお冠詞は甘んじて



於て其甚だしきを見る、迷ふ勿れ、唯
自ら救へ堤上の教訓に従へば益々深

極くも其甲斐あらんや、蓋しに迂り込むものなりと知るべし。
 やモガキや以て氏の遺傳と育
 に到底打ち勝つ能はざれば也
 と言あり、改心と云ふ言も ▲桑港
 在留日本人協行支部
 外事一束


の前、波斯^{ペルシア}に向け露兵^{ロシア兵}今やテヘランに進軍中

放蕩息子^{ハツドウシコ}の改心^{カウシン}呼^ヨはりは二進^{ニシン}▲勞働^{ロウドウ} 保險法案^{ホケンホフアン}何等の修正^{カウシュン}を經^{スル}る
全く窮^{キウ}り果^{ツキ}てし時^{トキ}か、然らざとなく上^{ウヘ}院^{イン}を通過^{トウツウ}し其^{ソノ}主義^{シュイギ}是^{コノ}に
の意見^{イセン}に申^{マウ}し聞^クき可^カき極^{キョク}な▲居^イて 附近^{フキン}のクロヲダグス河^カに陷^{オチ}
クオター 候^{コト}歿^シ死^シし屍^シ体^{タイ}發見^{ハツケン}せられた

さや ▲伊土 戦争に顧み國境に軍事上の

第五十回

座の邊アが聲「モン」皆様御目が
ましたか「新」此邊アめ何んた乃公
朝拜するな。に目が覺めましたか



丁目立花屋吉兵衛の家内縁に亂れ、う
いたから。見えて仲人に這入た所が理
不盡にも搔きへられて掛つたやうで、三
人共袂取りに解てはうかと思だが、
不祥の血を以て幾丈の壕内に汚すも如
何と心得、柔術を以て一時息の根を止
めて參つた。併し刀は斯様な野蠻國
様の者侍に持したて置くと、町人共が
迷惑をするだらうし、のみならず第一
里見家の恥辱にも相成る事だから取棄
りて参つたら、就いては無刀では城中
に歸る譯にも行かずまいから、此處に取
りに來るとに相違ない云々來だから、
は行かぬか。華夫は唯の町人同志の
嫌なら、私も扱ひも致しまさうが、貴
方の懐いた物を取上げたのを、手前
口を聞いたらからと、私に任して、
氣遣ひはありません、置いてお前
於ては御城下で御許判の貴方方でこ
しては御城下で一つ取斷願ふなすの
は如何でござい、若し夫が出来
せんでしたら御自身に御託をなさ
取戻した方が宜敷いので御託をして
すり其處を能く斡旋して、二三
れんか。頼夫は永らく
滞在で私は至てよくなすつて下さ

內科 外科 小兒科 淋病科 梅毒 醫院

小兒科專任 大坂醫學士 植利 貞治
院長 陸軍軍醫正 高井

京城番町三丁目
電話二一六番

高橋製藥株式會社
東京北村支店

の上御返辭すべしと言返を濁し置
速三木に相談せしに三木は何分にも
手が士木諸貨業者と云ふに迂濫にす
せば後目誘惑の生ずる事あるべしと
あい自身の考へ通りにすべしと返答

ちをに斯る魂膽ありとは知らず其の
 を入れたるよりみちは澤庵の目を
 吉谷と樂しみ居たり然るに澤庵は
 二日大坂迄旅行したるに留守中は
 みちと吉谷とは夫婦氣取りに同棲

るので直接之れを取扱ふ先生
を聴いて見た
城病院長
馬淵醫學士談

二位です治療法は解熱劑を與へ
稀れにはあるが、自然の経過を
物理的變化に従ひ
處置を執る外はない

午後一時半頃南大門小学校横
 鮮人少年擴夫の後方より自

本國の日本橋に千里間
 民は幾子の二代目にならんか
 のものである(寶駒生)△東部
 の長屋の山の神三三人は毎
 々合して他人の悪口許り申し
 つうしんやうしまだ

本科生活募集ス入所志願者
 二月五日迄入學願
 左記期日ニ來所受驗スベシ
 用紙ハ本所ヨリ交付ス
 二月七日
 体格、國語(翻譯、對話、
 四則及小數、分數)聽漢文

附屬品

金
光
堂

調製
に御調製可申候

シ 什候間 碎續御

油商組合

電話一五五六番
金井豊七

女賣
日より
上三割引

井出張店
電話二百五番

引續
東京
足麻
裏袋

う
り
ま
す

現はたは僕ほどの二、三代目にならぬ
 と心配するものである（實録）
 某儒者所下の長屋の山の神三人は毎
 日朝から集合して他人の悪口を申し
 て居る（見）生々？通信局部内で島田法
 学士と云へば嚴格の公平を令聞ある
 人だ其部下より他人の公を令したる
 十歳も年長の軍人未だ人（中略）〇〇、
 〇〇などの輩たる判付官達に續出し

書つて來る
 但し差出
 試験期將
 算術科目
 國語
 明治十四年十二月

朝鮮總督府
 工業傳習所

林航廣告

(番五七話電) 目丁三町本川仁

●諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候

懷中良藥

諸君いつも仁丹を召上れ

消化と
シンガ
仁丹


香味、芳香、優絶の仁丹は、
●暑熱傷り、嘔吐、●腹痛、目眩、
●船酔い、暈車酔、●頭痛、風邪、
●瀉痢、夏の喉痛、●蚊咬、虫刺等、に
最もよくやく靈藥。

新井藥房

京城南大門通三丁目

朝鮮代理店

元祖
 菓子パンアンパン各種
 總督府各官衙御用
 陸軍御用
 製造御相川兄弟商會
 小賣商
 京坂太平町一丁目
 釜山落平町一丁目
 (電話一八八九番)
 (電話二七六番)


 印 諸 紙 諸官衙御用
 和洋機簿 倉 支 店
 酒精アルコール
 新荷着
 仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電報ナ)
 坂 倉

つきやく
 月經をつうじ
 子宮病を全治す
 月經停止三四月の滞りを通じ、其他月
 經不順より起る子宮病血道の諸病、
 食物運送す、血分變じ、逆上強くすの
 病を根治す、氣のめぐりを能くす
 月經不順